2026年11月12日

各　位

会 社 名　株式会社ユニリタ
代表者名　代表取締役 社長執行役員　北野 裕行
（コード：3800、東証スタンダード市場）
問合せ先　取締役 上席執行役員 コーポレート本部長　伊藤 正人
（TEL03-5463-6381）

（訂正・数値データ訂正）「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ

当社が、2026年11月11日に開示いたしました「2027年３月期 第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データ（XBRL）にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、本訂正による連結業績（売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益）への影響はありません。

記

１．訂正の内容と理由

「１．経営成績等の概況（１）当中間期連結累計期間の経営成績の概況」および「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記)」に記載された内容の一部に誤りがあることが判明いたしましたので、訂正を行うものであります。

なお、訂正の理由は、当中間連結会計期間において、本来クラウドサービス事業に計上すべき費用の一部を、各報告セグメントに配分していない全社費用として計上していたことによるものです。

２．訂正箇所

訂正箇所には下線を付すとともに、黄色のハイライトを付して表示しております。

（訂正前）

１．経営成績等の概況（１）当中間期連結累計期間の経営成績の概況

セグメント別売上高、営業利益および営業利益率

（金額単位：百万円）

		2026年３月期 中間会計期間	2027年３月期 中間会計期間	前年同期比	
				増減	増減率
プロダクトサービス	売上高	2,270	2,253	△16	△0.7%
	営業利益	669	533	△136	△20.3%
	営業利益率	29.5%	23.7%	△5.8pt	－
クラウドサービス	売上高	1,834	1,984	150	8.2%
	営業利益	△235	△120	114	－
	営業利益率	－	－	－	－
プロフェッショナルサービス	売上高	1,858	2,221	362	19.5%
	営業利益	171	245	74	43.6%
	営業利益率	9.2%	11.1%	1.9pt	－
連結	売上高	5,962	6,459	496	8.3%
	営業利益	459	448	△10	△2.2%
	営業利益率	7.7%	7.0%	△0.7pt	－

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

（中略）

クラウドサービス事業は、売上高19億84百万円（前年同期比8.2%増）、営業損失１億20百万円（前年同期比１億14百万円の損益改善）となりました。当事業に属する主な製品・サービスの経過ですが、サービスマネジメントの中核製品である「LMIS」については、利用範囲の拡大による既存顧客からの増注や他社製品からの乗り換え需要等により売上が伸長しました。また、データマネジメントの中核製品である「Waha! Transformer」については、データ資産をAI等で活用するためのデータ連携需要の高まりから引き合いが増加し、売上が伸長しました。これらにより増収に連動して損失が縮小しました。

（訂正後）

１．経営成績等の概況（１）当中間期連結累計期間の経営成績の概況

セグメント別売上高、営業利益および営業利益率

（金額単位：百万円）

		2026年３月期 中間会計期間	2027年３月期 中間会計期間	前年同期比	
				増減	増減率
プロダクトサービス	売上高	2,270	2,253	△16	△0.7%
	営業利益	669	533	△136	△20.3%
	営業利益率	29.5%	23.7%	△5.8pt	―
クラウドサービス	売上高	1,834	1,984	150	8.2%
	営業利益	△235	△153	81	―
	営業利益率	―	―	―	―
プロフェッショナルサービス	売上高	1,858	2,221	362	19.5%
	営業利益	171	245	74	43.6%
	営業利益率	9.2%	11.1%	1.9pt	―
連結	売上高	5,962	6,459	496	8.3%
	営業利益	459	448	△10	△2.2%
	営業利益率	7.7%	7.0%	△0.7pt	―

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

（中略）

クラウドサービス事業は、売上高19億84百万円（前年同期比8.2%増）、営業損失１億53百万円（前年同期比81百万円の損益改善）となりました。当事業に属する主な製品・サービスの経過ですが、サービスマネジメントの中核製品である「LMIS」については、利用範囲の拡大による既存顧客からの増注や他社製品からの乗り換え需要等により売上が伸長しました。また、データマネジメントの中核製品である「Waha! Transformer」については、データ資産をAI等で活用するためのデータ連携需要の高まりから引き合いが増加し、売上が伸長しました。これらにより増収に連動して損失が縮小しました。

（訂正前）

２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）

Ⅱ．当中間連結会計期間（自　2026年４月１日 至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	プロダクトサービス	クラウドサービス	プロフェッショナルサービス			
売上高						
外部顧客への売上高	2,253,585	1,984,530	2,221,292	6,459,407	－	6,459,407
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,719	122,613	285,605	419,938	△419,938	－
計	2,265,304	2,107,144	2,506,898	6,879,346	△419,938	6,459,407
セグメント利益又は損失(△)	533,386	△120,421	245,975	658,939	△209,944	448,995

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用とは、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費を指しております。

２．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（訂正後）

２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）

Ⅱ．当中間連結会計期間（自　2026年４月１日 至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	プロダクトサービス	クラウドサービス	プロフェッショナルサービス			
売上高						
外部顧客への売上高	2,253,585	1,984,530	2,221,292	6,459,407	－	6,459,407
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,719	122,613	285,605	419,938	△419,938	－
計	2,265,304	2,107,144	2,506,898	6,879,346	△419,938	6,459,407
セグメント利益又は損失(△)	533,386	△153,967	245,975	625,393	△176,398	448,995

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用とは、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費を指しております。

２．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以　上